

上尾市スポーツ推進に関する調査 要約版

1. 調査目的

上尾市スポーツ推進計画の策定に向けて、市民、児童生徒の運動・スポーツの実施状況や意識を把握するとともに、スポーツ関係団体等の実態を調査し、本市におけるスポーツ推進の現状と課題を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

2. 調査対象及び回収状況

調査名	調査対象	配布件数	回収数	回収率	
①市民	市内在住の18歳以上の市民	3,000件	1,259件	42.0%	
②児童生徒	(ア)小学生	市内小学校に通う小学生	457件	419件	91.7%
	(イ)中学生	市内中学校に通う中学生	477件	443件	92.9%
③団体	市内のスポーツ関連団体	43件	41件	95.3%	

3. 調査期間と調査方法

調査期間:令和2年6月19日～令和2年7月17日

調査方法:①市民:郵送配布－郵送回収

②児童生徒:協力依頼した学校において配布・回収

③団体:郵送配布－郵送回収

4. 調査結果を見るうえでの注意事項

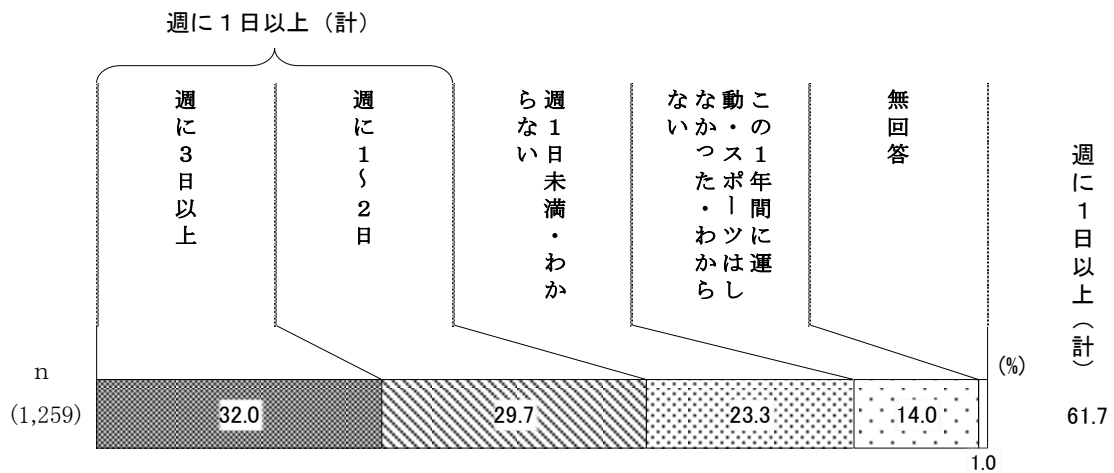
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある

(1) 市民意識調査（18歳以上市民のスポーツ活動の現状）

■スポーツ実施状況について

- ・週に1日以上運動・スポーツを実施する人の割合は61.7%となっている
- ・30代で週1日以上運動・スポーツを実施している人は他の年代に比べて少ない
- ・40代以降は年代が高くなるにつれて、おおむね実施率も高くなっている
- ・「この1年間に運動・スポーツはしなかった」「わからない」は14.0%

スポーツの実施頻度・実施率(市民)

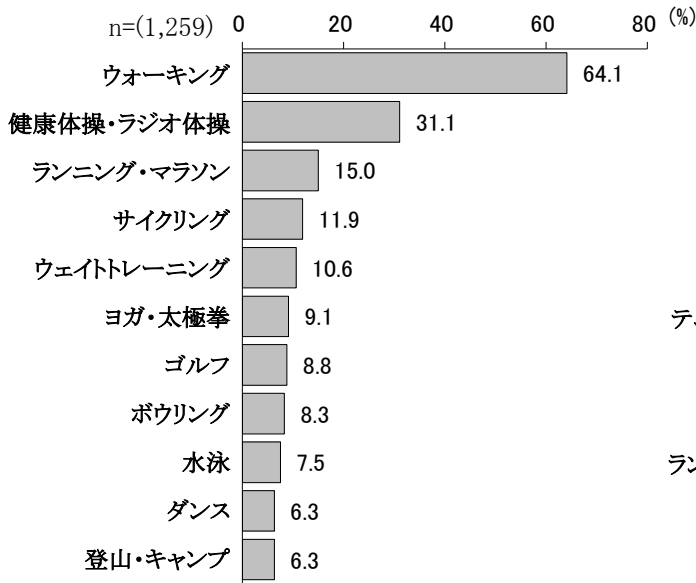


年代別のスポーツ実施頻度・実施率(市民)

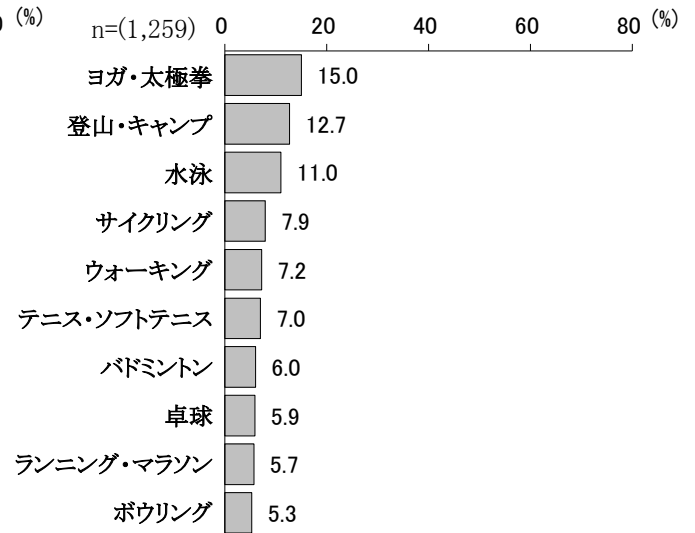
	調査数	週に3日以上	週に1〜2日	週に1日未満・わからない	この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	無回答	週に1日以上 (計)
全体	1,259	32.0	29.7	23.3	14.0	1.0	61.7
18〜19歳	21	38.1	23.8	28.6	4.8	4.8	61.9
20〜29歳	92	17.4	27.2	40.2	15.2	-	44.6
30〜39歳	138	15.9	23.9	41.3	18.1	0.7	39.9
40〜49歳	247	20.2	35.2	30.0	13.8	0.8	55.5
50〜59歳	194	23.7	34.0	24.7	16.5	1.0	57.7
60〜69歳	204	42.2	26.0	15.2	16.2	0.5	68.1
70〜79歳	270	51.5	29.3	8.9	8.9	1.5	80.7
80歳以上	82	40.2	26.8	15.9	14.6	2.4	67.1
無回答	11	27.3	36.4	27.3	9.1	-	63.6

- ・現在実施しているスポーツでは「ウォーキング」が 64.1%で一番多く、次いで「健康体操・ラジオ体操」「ランニング・マラソン」となっている
- ・今後行ってみたいスポーツとしては、「ヨガ・太極拳」「登山・キャンプ」「水泳」が挙げられている
- ・個人で実施可能な種目にニーズが高まっており、野球やサッカーなどの団体種目のニーズは比較的低くなっている

現在実施中のスポーツ(上位 10 種目)(市民)

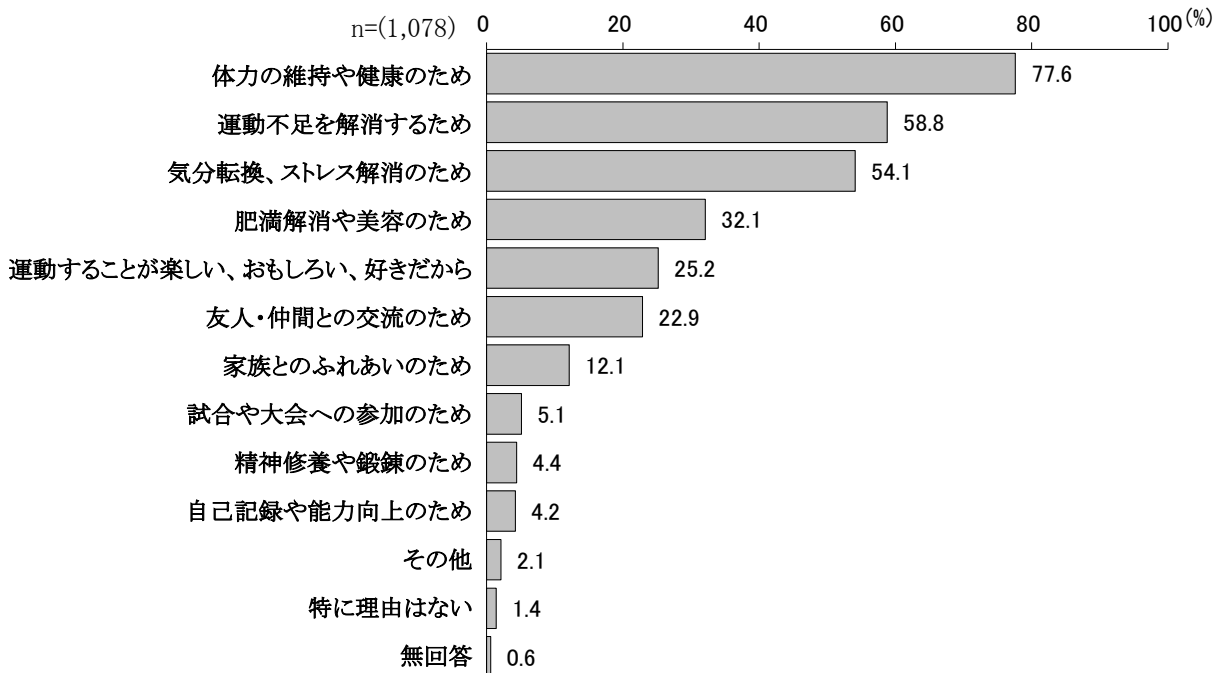


実施したいスポーツ(上位 10 種目)(市民)



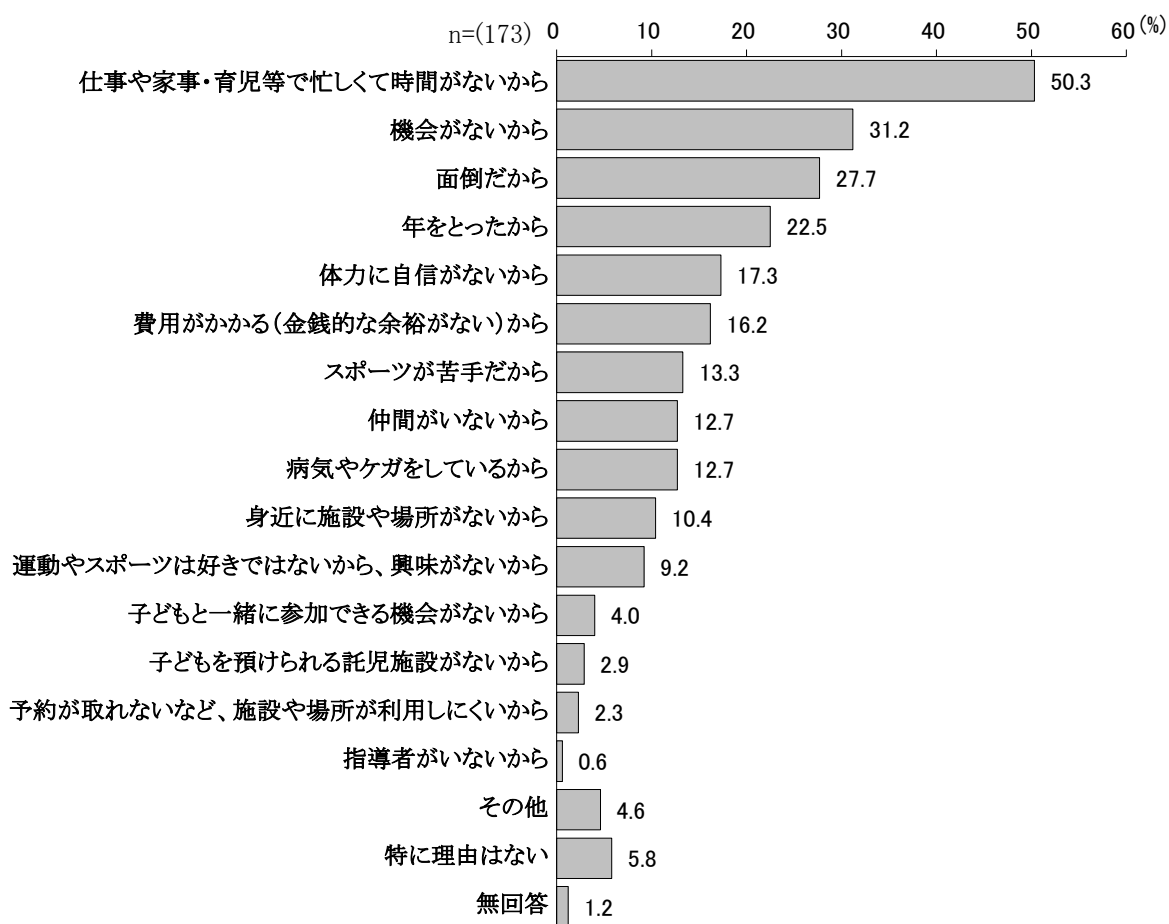
- ・運動・スポーツを行う理由は、「体力の維持や健康のため」が 77.6%で最も多く、次いで、「運動不足を解消するため」が 58.8%、「気分転換、ストレス解消のため」が 54.1%となっている

運動やスポーツをする理由(市民)



・運動・スポーツを行っていない理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が50.3%で最も多くなっている。次いで、「機会がないから」「面倒だから」「年をとったから」といった理由が多くなっている

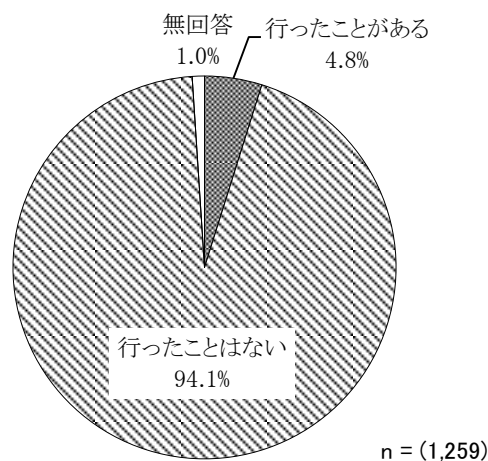
運動やスポーツを行っていない理由(市民)



■スポーツボランティア・イベントについて

- ・過去1年間のスポーツに関するボランティア活動への参加率は4.8%にとどまっている

過去1年間のスポーツに関するボランティア活動の実施状況(市民)

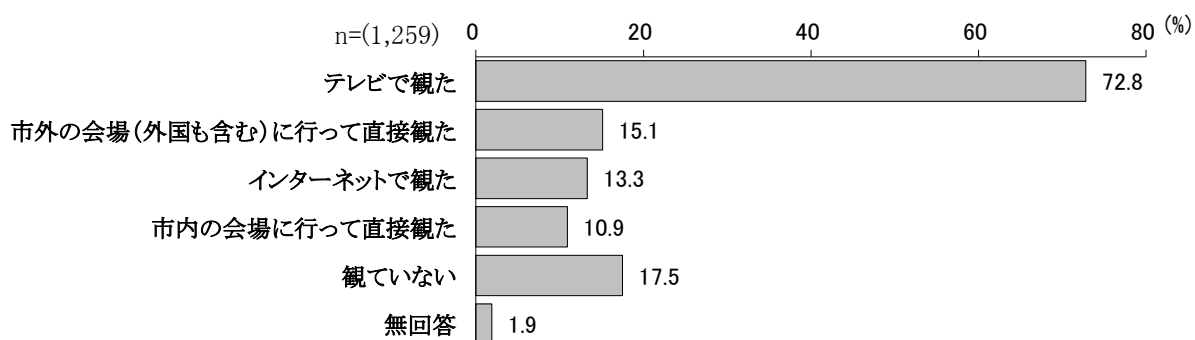


■スポーツ観戦について

- ・この1年間にスポーツを「テレビで観た」は72.8%、「市外の会場に行って直接観た」は15.1%
- ・「観戦していない」人は17.5%であった
- ・「テレビで観た」と「インターネットで観た」を合わせた『テレビ・インターネットで観戦した(計)』は74.4%、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」と「市内の会場に行って直接観た」を合わせた『現地で観戦した(計)』は22.2%となっている

※「テレビで観た」、「インターネットで観た」、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」、「市内の会場に行って直接観た」の回答者は重複するため、『テレビ・インターネットで観戦した(計)』『現地で観戦した(計)』の割合は、個別の割合の合計値よりも少なくなっている。

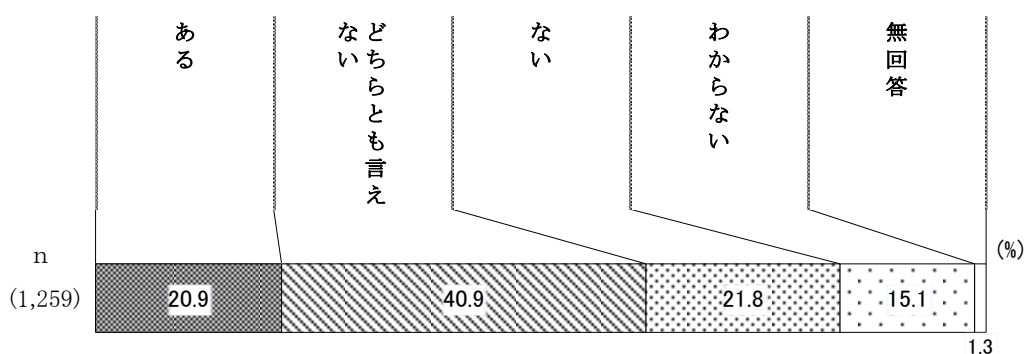
過去1年間のスポーツ観戦状況(市民)



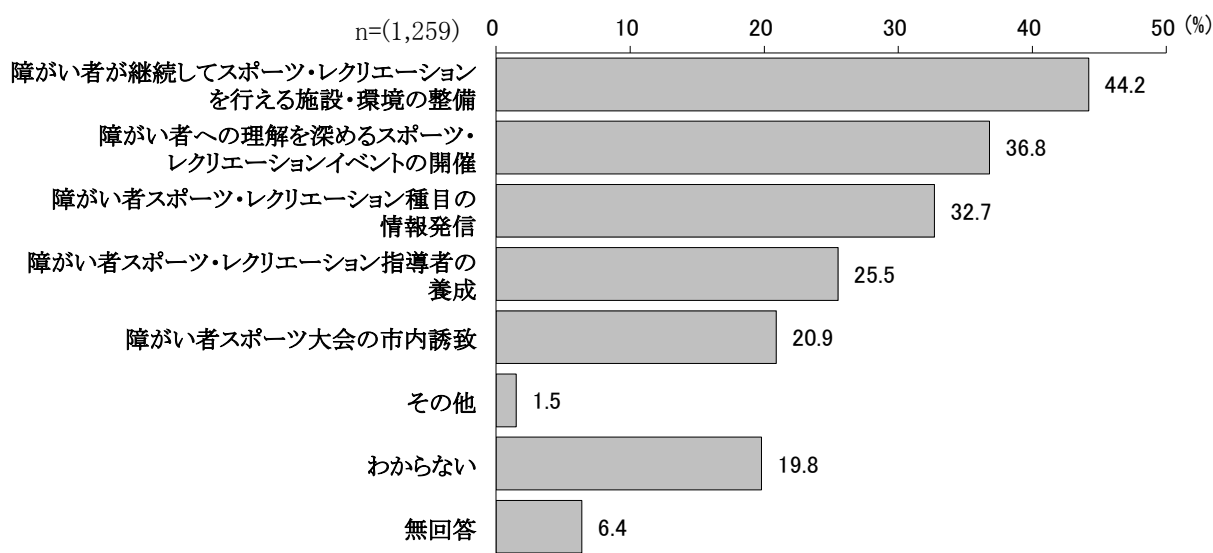
■障がい者スポーツについて

- ・障がい者スポーツに関心が「ある」は20.9%となっている
- ・障がい者スポーツを推進するために取り組むべきことは、「障がい者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が44.2%で最も多く、「障がい者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が36.8%で続いている

障がい者スポーツへの関心度(市民)



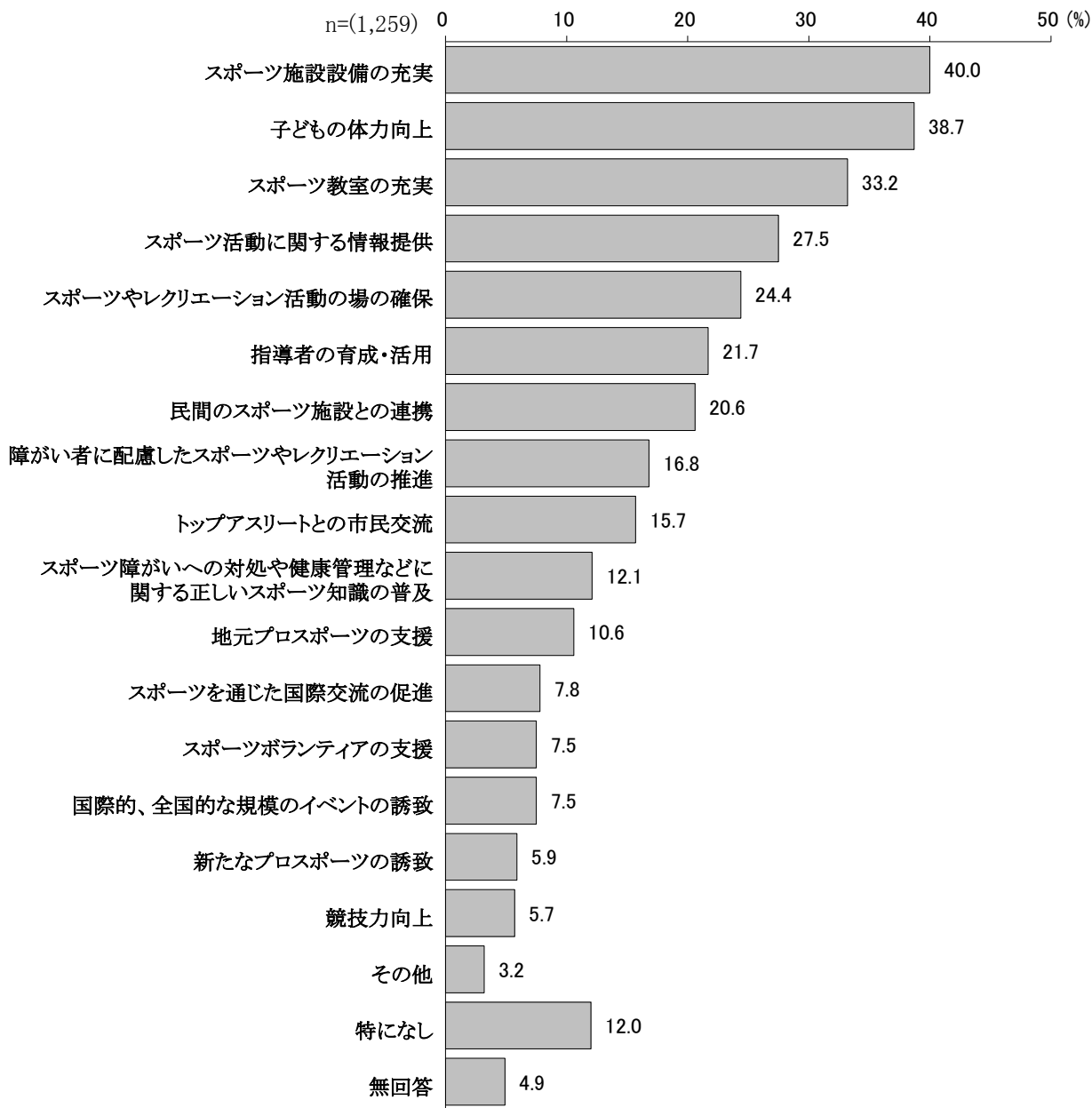
障がい者スポーツの推進のために、市が取り組むべきだと思うこと(市民)



■スポーツ施策について

今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が40.0%で最も多く、次いで「子どもの体力向上」が38.7%、「スポーツ教室の充実」が33.2%となっている

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(市民)

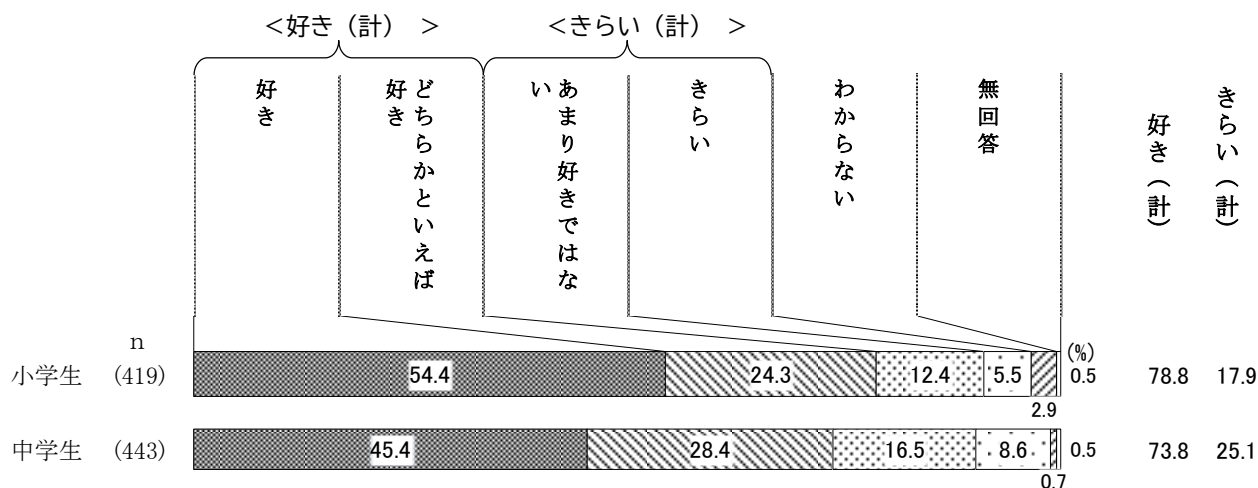


(2) 児童生徒調査（小学生・中学生のスポーツ活動の現状）

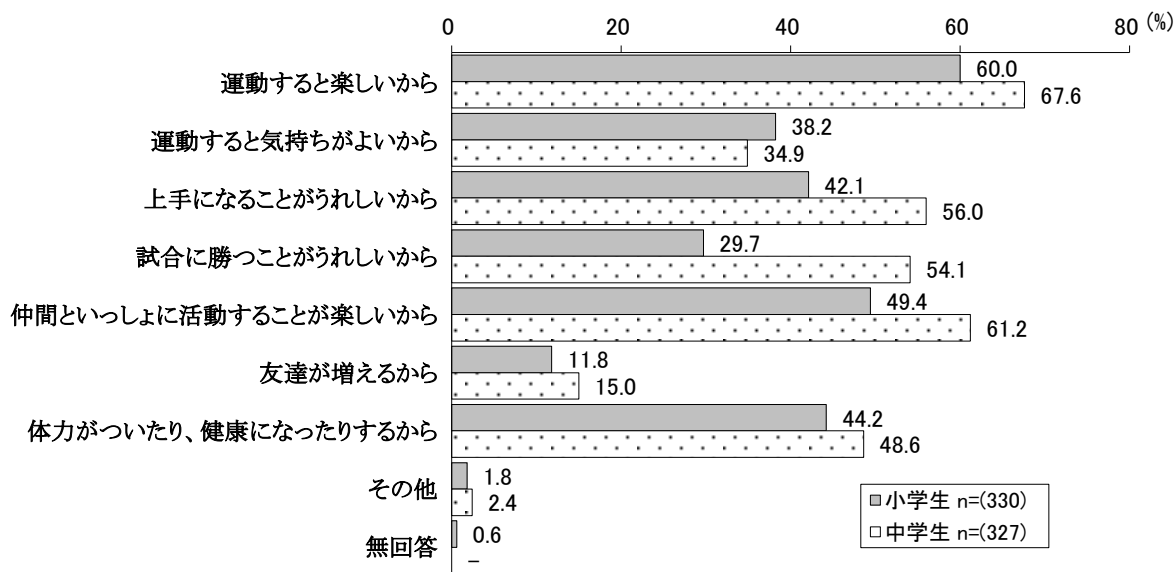
■スポーツ実施状況について

- ・「運動が好き」と回答した小学生は78.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」が多く挙げられている
- ・「運動が好き」と回答した中学生は73.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」「仲間といっしょに活動することが楽しいから」が多く挙げられている
- ・「運動が嫌い」と回答した小学生は17.9%、中学生は25.1%となっている。
- ・体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由として、小中学生ともに「運動が得意ではないから」が多く挙げられている

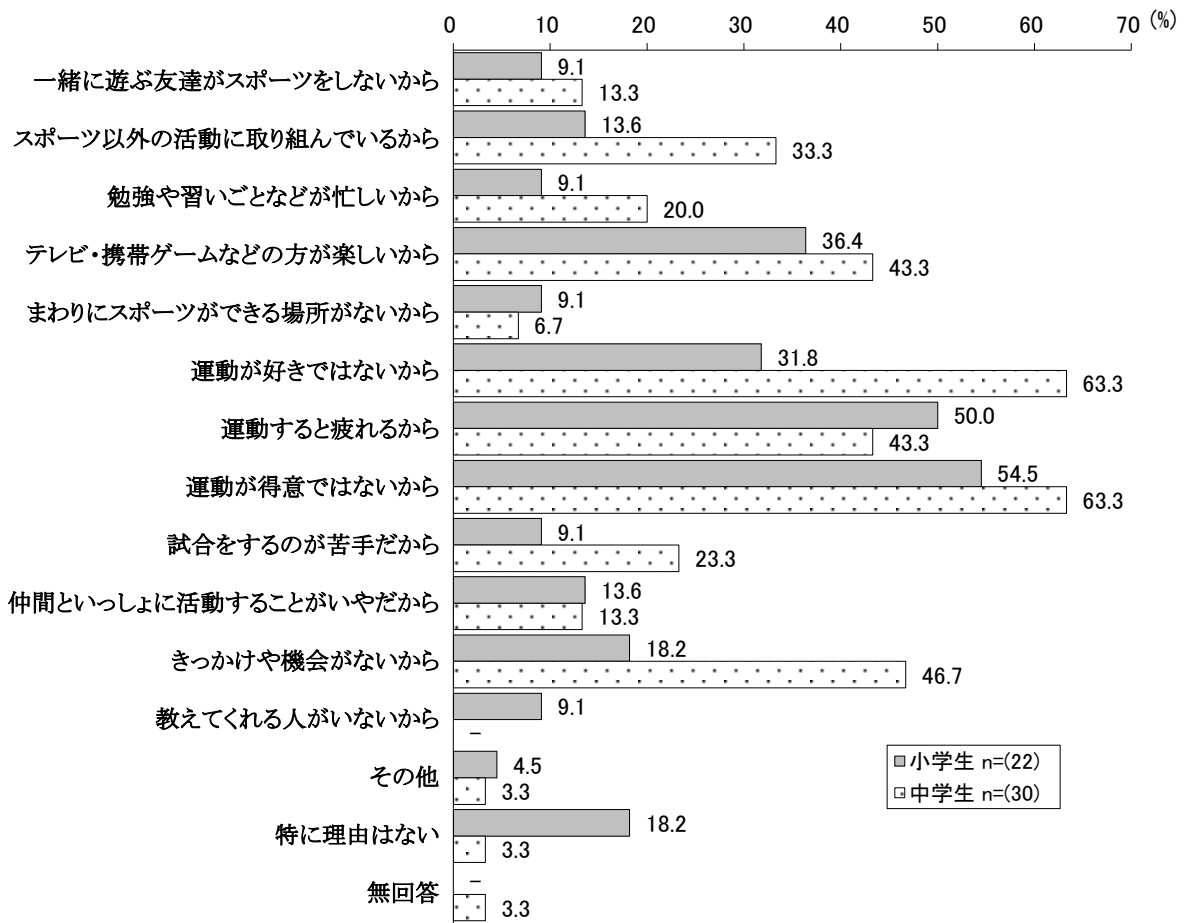
運動やスポーツをするのが好きか(小学生・中学生)



運動やスポーツが好きな理由(小学生・中学生)



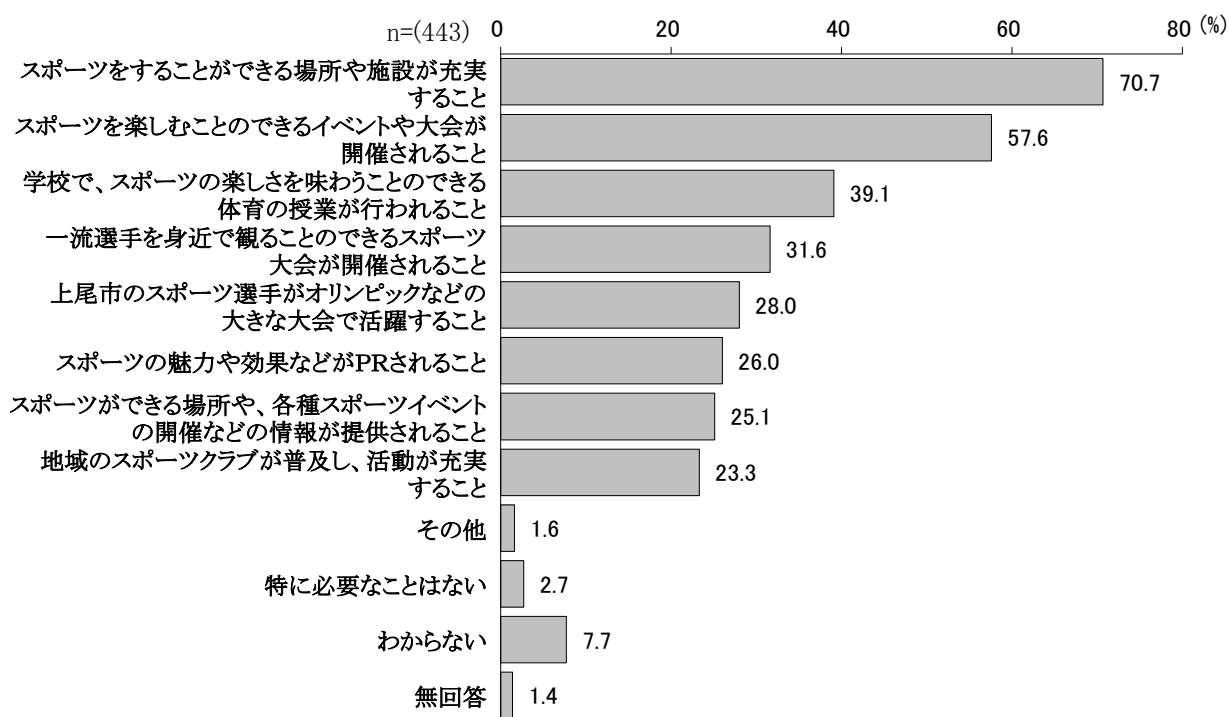
体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由(小学生・中学生)



■スポーツ全般について

- ・スポーツをする人が増えるために必要なこととして、「スポーツをすることができる場所や施設が充実すること」が70.7%で最も多く、次いで「スポーツを楽しむことのできるイベントや大会が開催されること」が57.6%、「学校で、スポーツの楽しさを味わうことのできる体育の授業が行われること」が39.1%となっている。

スポーツをする人が増えるために必要だと思うこと(中学生)

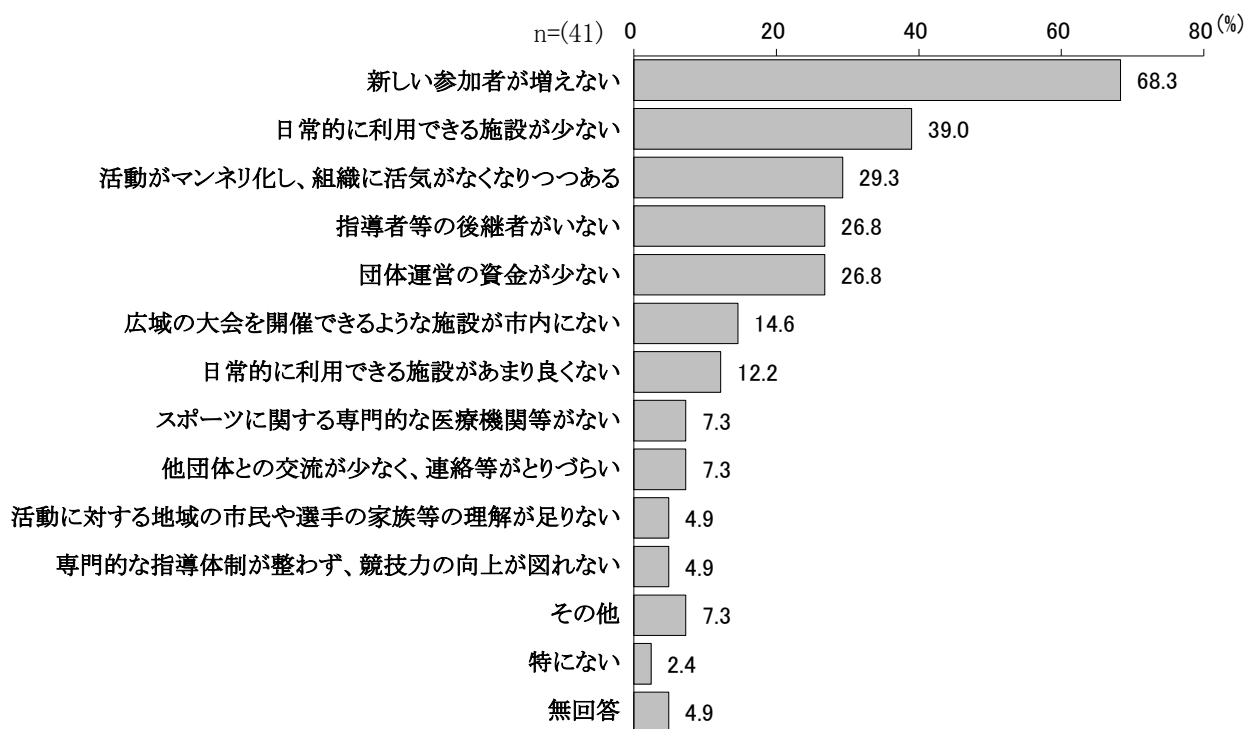


(3) 団体調査（市内で活動する団体のスポーツ活動の現状）

■団体の活動状況について

- ・活動をする上での不都合や問題点として、「新しい参加者が増えない」が68.3%で最も多く、次いで「日常的に利用できる施設が少ない」が39.0%となっている

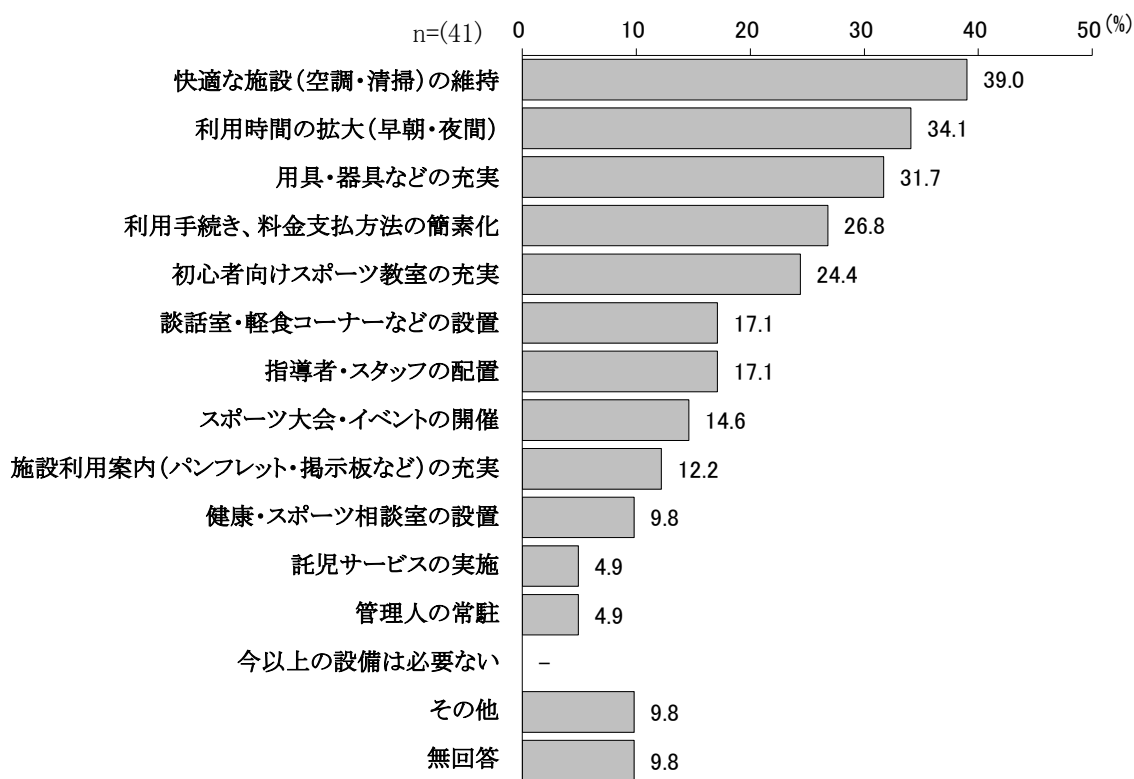
活動をする上で不都合や問題点(団体)



■スポーツ施設について

- ・公共スポーツ施設に必要なことでは、「快適な施設（空調・清掃）の維持」が 39.0%で最も多く、次いで「利用時間の拡大（早朝・夜間）」が 34.1%、「用具・器具などの充実」が 31.7%となっている

公共スポーツ施設を充実させるために必要なこと(団体)



■本市のスポーツ推進計画について

- ・今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が58.5%で最も多く、次いで「スポーツやレクリエーション活動の場の確保」が46.3%、「子どもの体力向上」、「スポーツ活動に関する情報提供」が39.0%となっている

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(団体)

